

“但馬牛”今昔物語

兵庫県立但馬牧場公園 「但馬牛博物館」

館長 渡邊 大直

第7回「洋種交配①」

明治は従来の和牛にヨーロッパ品種（以下「洋種」という。）の交配を推奨した時代です。

但馬牛にも洋種交配が行われましたが、その洋種交配には、松岡康毅農商務大臣訓示事件に象徴されるように、国と県、地元の間はかなり行き違いがあったようです。

松岡大臣訓示事件とは、1909年、大阪市で開催された関西連合実業大会の大臣訓示に、『兵庫県の北部の如きは、時好によって恣に牛種の変更をなす傾向あるは殊に考慮を要すべきことなり』という一節があり、これを聞いた服部一三兵庫県知事が、『全体兵庫県の北部とはどこだ。但馬である。但馬の改良原種としてブラウン種を輸入したのは兵庫県が勝手に定めたのではない。御料牧場長新山莊輔が、但馬を巡回して宣伝した結果である。しかるに、農商務大臣が農商務省の定めたる種牛を、公開の席上で攻撃するような訓示をなすことは甚だ以てけしからぬ』とかみつ、農商務省の西川畜産課長が知事に謝罪的親書を送ったとされる事件です。

但馬牛の洋種交配は、ショートホーン種とデボン種を導入した前期と、ブラウンスイス種を導入した後期に分けることができます。

まずは前期。

明治政府は、1869年から78年にかけて、12～13品種、1,669頭の種牛を輸入しました。輸入した品種はショートホーン種が最も多く、次いでデボン種でした。その目的は、増加しつつあった牛乳と食肉需要に対応するため、乳肉兼用種の増殖を図るもので、在来和牛の改良ではありませんでした。1881年に農務局が出した通達に『内国種の雌に純粋種の雄を配して得たるものを和洋何々1回雑種と称し、1回雑種の雌に純粋種の雄を配して得たるものを和洋何々2回雑種と称し、以下3回、4回、5回はこれに倣い、6回に至って何々改良種と称し、（中略）1回雑種の雌に内国種の雄を配し、もしくは2回雑種の雌に1回雑種の雄を配して得られたるものは退却雑種』とあります。この通達の中にある純粋種は洋種を指し、洋種を順次交配して洋種に近い乳肉兼用種を造ることが目的でした。

一方豊岡県は、1875年に『在来の畜牛（但馬牛）は、体軀の發育悪しく、乳肉量に欠くところあるをを以て、これが改良を行わんと、洋種で但馬牛を改良することを目的に、国からショートホーン種とデボン種の雌雄各1頭を借り受けました。

このように国と豊岡県で洋種の利用目的に違いがありますが、国も、豊岡県も、在来和牛あるいは但馬牛の改良方針を決めて、洋種交配に取り組んだわけではありませんでした。

この豊岡県の先駆的洋種導入は、「但馬牛物語」に『和牛の守護神、大日如来さまのご加護か、はたまた地牛但馬牛の無言の抵抗であったか』とあるように、苦難の連続でした。

豊岡県が洋種受け入れのために豊岡近郊に造った官牛飼養場の牛舎が雪により倒壊してしまい、管理人の郷里、養父郡広谷村に移して管理することになりました。翌1876年、美方郡大笹に兵庫県牧場繁殖場（その年豊岡県は兵庫県に合併し、兵庫県がこの事業を引き継いだ）を造りましたが、これも大雪で牛舎が倒壊してしまいました。これを修復して洋種を追加導入し、1882年にはショートホーン種雌2頭、雄3頭、デボン種雌3頭、雄3頭、但馬牛雌雄各1頭、1回雑種、2回雑種、3回雑種及び退却雑種の雌各1頭となりましたが、その翌年には経営難で閉鎖せざるをえなくなり、洋種種牛は照来村、出石郡室埴、奥佐津村の農家に管理委託することになりました。それでも兵庫県はショートホーン種とデボン種の導入を続け、“牛の貸与制度”も活用しましたが、遂にこれら2品種を用いた改良は成就しませんでした。

その原因を探ってみると、デボン種の一部は1883年には見切りを付けられて返納されたとあり、デボン種は期待した産子が得られなかったようです。一方ショートホーン種は、『肉食盛んとなり、屠牛数頗る増加する勢いなれば、将来畜牛の需要急なるを慮り、当事業においては短角種の肥大強壯なる需肉兼需乳の種類の雑種を繁殖せんと計画を立てたり』として1887年に種雄牛を導入しています。しかし、これは但馬牛の改良を目指した当初の目的と異なり、乳肉兼用種の増殖になっています。

兵庫県が、豊岡県の事業を引き継ぐ時、但馬牛改良に対する意向調査をしましたが、但馬牛の改良に対する農家の関心は無かったといえます。前号にも書きましたが、当時は“牛持ち”と言われる地主や商家、家畜商がいて、実際に牛を飼うのは、彼らから牛を預かって耕作に利用する“牛小作”という構造下であり、牛の値が上がれば種牛、耕牛の区別なく“牛持ち”が売り払ってしまい、耕作に支障が生じるような時代でした。

県に但馬牛の改良方針が無く、農家にも改良に取り組む土壌がなかったことが失敗の原因だったようです。
(次号につづく)